

第84回 全国書道コンクール出品要項

左記のとおり硬筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

一、中学生・小学生・幼年

- 課題＝次ページ掲出課題
- 用紙＝本会選定用紙

○ 幼・小一年………四行用紙

○ 小二年以上………五行用紙

● 用具＝幼年から小三まではえんぴつ

小四以上は、つけペン、デスク

ペン、ボールペンのいずれかを使用。

一、出品料（一点につき）

会 友 六〇〇円

中学～幼年 五〇〇円

一、出品締切り

平成二十五年七月二十五日必着のこと

一、送り先

509-5134 土岐市泉島田町一―三〇

大書心会全国書道コンクール係

一、審査

期 日 七月三十日（火）

午前九時半から

会 場 セラトピア土岐

一、審査員

会長・認定審査員・及び八十点以上出品の団体責任者に委嘱。

一、褒賞

大賞・準大賞・会友特選（以上会友作品

を対象とする）・会長賞※土岐市長賞※同教育長賞※同市議会議長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・理事奨励賞・特選・奨励賞・芽ばえ賞・優秀・秀作・入選・佳作
(※印は申請中)

（※印は申請中）
同教育長賞※同市議会議長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・理事奨励賞・特選・奨励賞・芽ばえ賞・優秀・秀作・入選・佳作

一、特別昇級の特典
硬筆部1級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。（申請者のみ）

一、その他

○一人何点でも出品できますが、特別賞受賞は一人一点とします。

○出品料は為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

○作品は月例競書と同封してもよろしいが必ず混同しないよう、明確に区別して下さい。

○特別賞入賞作品は、十月十一日（金）～

十月十四日（月・祝）のペン字展において展示いたします。

[注]

※一般・高校生については、十月十一日（金）～十月十四日（月・祝）にペン字展を開催します。奮ってご出品下さい。
詳細については来月号に発表します。

一、表彰

本誌十月号誌上。特別賞入賞者の授賞式は、十月十四日（月・祝）に、ペン字展授賞式とあわせて行います。

▼原寸大手本（コピー）

一枚……五〇円（送料実費）

●六段以下の受賞者は一階級昇格を認めます。

●教育部四年生以上での受賞二回を含み、通算三回受賞した場合は会友を認定し

ます。

※いざれも八月から昇格します。

とはっきりご指定下さい。

第84回コンクール課題 (テーマ=植物)

※「ペン」は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

※幼年から小二までは上一段あけて書いて下さい。句読点は省略します。

幼年 (えんぴつ)

みどりの	くさ、	はな	しろい

小三年 (えんぴつ)

眼下に広がる	クラスみんなで	大事に育てた	光つている
ゆう大な山の景色と	色あざやかに	赤いばらの花	
美しいお花畠は			
登り道の苦しさを			
忘れさせてくれる			

小六年 (ペン)

眼下に広がる	クラスみんなで	大事に育てた	光つている
ゆう大な山の景色と	色あざやかに	赤いばらの花	
美しいお花畠は			
登り道の苦しさを			
忘れさせてくれる			

小一年 (えんぴつ)

ひまわり	あさがお	なつの花	きれいな

小四年 (ペン)

木を植えて	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
明るい町づくりを	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
木を植えて	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
明るい町づくりを	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
木を植えて	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
明るい町づくりを	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
木を植えて	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
明るい町づくりを	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
木を植えて	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています
明るい町づくりを	道ばたにも	緑の少ない都會では	進めています

中一年 楷書 (ペン)

高山植物は	厳しい気候に耐えて	養分の少ない岩の下や	石ころの間で育ち	夏には見事な花を開く

小一年 (えんぴつ)

野原には	名まえもしらない	花がいつぱい	きれいだよ

小五年 (ペン)

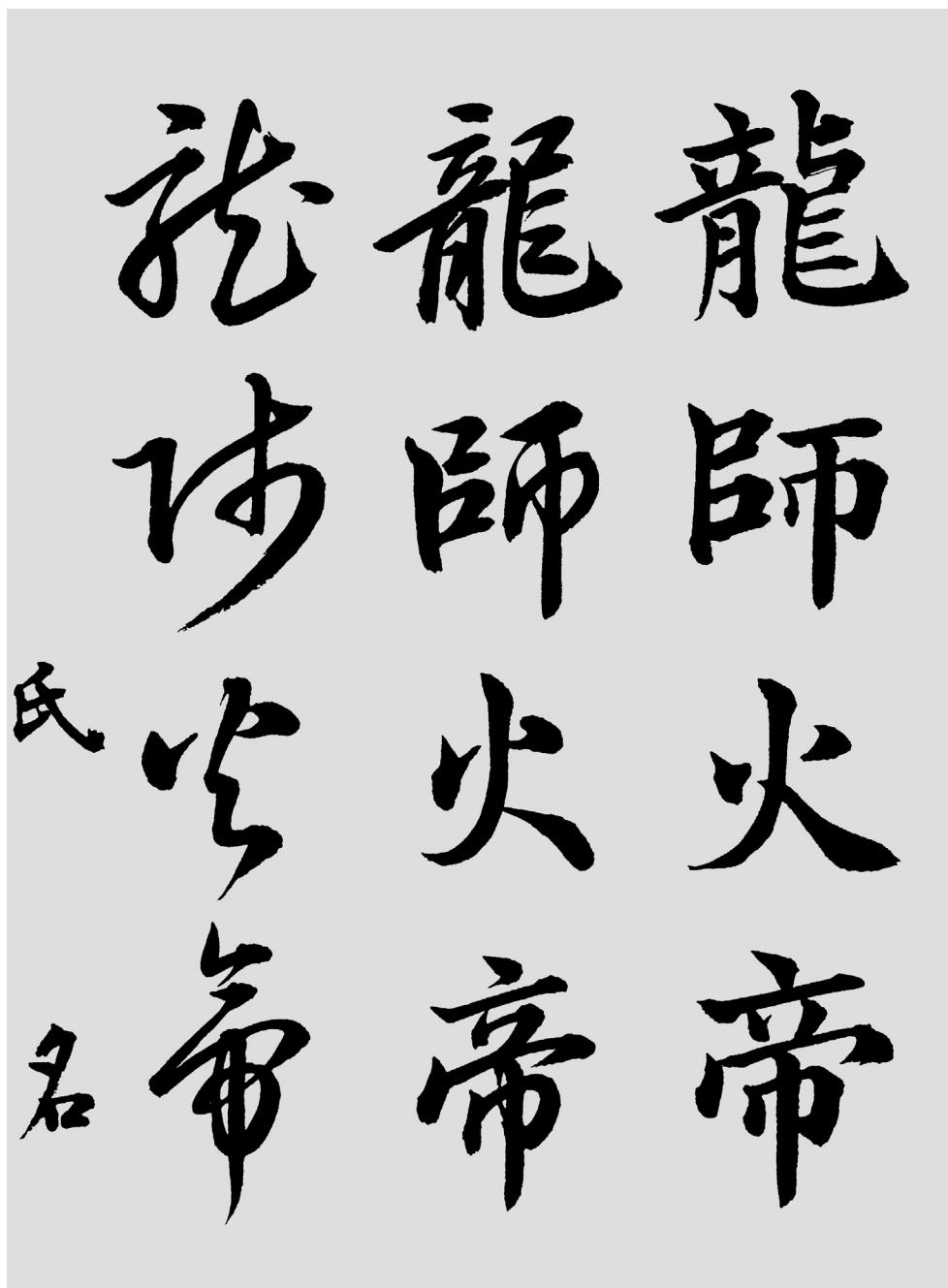
寒い冬の日でも	温室に入ると	暑い国で生まれた	原色の花々で	目も覚めるばかり

中二・三年 行書 (ペン)

寒い北国ほど	暑い国で生まれた	原色の花々で	目も覚めるばかり	激しい差が
鮮やかな紅葉が	温室に入ると	暑い国で生まれた	目も覚めるばかり	昼夜と夜の気温の差が
見られるのは	寒い冬の日でも	寒い冬の日でも	寒い冬の日でも	激しいからです
寒い北国ほど	温室に入ると	温室に入ると	温室に入ると	寒いからです
鮮やかな紅葉が	寒い冬の日でも	寒い冬の日でも	寒い冬の日でも	寒いからです
見られるのは	温室に入ると	温室に入ると	温室に入ると	寒いからです

千字文を学ぶ

短期特別課題



奥村憲照先生書

〔解説〕
四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあつた。

梁の武帝（在位五〇二～五四九）の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔千字文〕

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしつかり学びましょう。

◆硬筆部が設立されたのは、昭和五十六（一九八一）年四月のことです。 「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穩健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へつながりました。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六（一九八一）年四月のことです。 「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穩健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へとつながりました。

□作品の出し方

- ▼硬筆部 || B5判（二五七mm×一八二mm）以下に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）
- ▼毛筆部 || 半紙に書いて下さい。（筆ペン可）
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

〔解説〕
龍師火帝は三皇のうちに数えられた王族である。
鳥官人皇
鳥官、人皇は中国太古の高貴の官名。

一般部規定課題

締切り 7月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]

誠

意

志

業

尊

相

手

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。
◎今月は行書。楷書の如き窮屈さがなく、草書の如く難解でもない。書きやすく読みやすい、実用上応用がきいて、広く一般に使用されている書体です。気楽に練習して下さい。

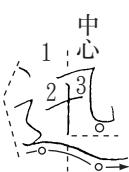
誠意や真心から出た
言葉や行為はそれ自体
尊く相手の心を打つ

おか岡 だ田 りゅう 龍 ほう 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]



速

決

断

訓

練

自	行	迅
己	動	速
訓	で	に
練	き	決
す	る	断
る	よ	し
	う	

おおたにせいじょう 大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★誠意や:(書体=行書)

松下幸之助(一八〇九~一九〇〇)

松下電器産業会社の創立者

経営の神様と呼ばれた松下氏の「社員心得帳」から。

言葉や行為は、その人の心の有り様を素直に表すものです。うわべだけの言葉や行為は見透かされてしまします。たどたどしくても誠意ある言動は、必ず相手の心に響くことでしょう。

◆8月課題予告(行草または草書)

迷う者は路を問わず

溺る者は遂を問わず

荀子

▼教範・書範=楷書
▼師範=行書

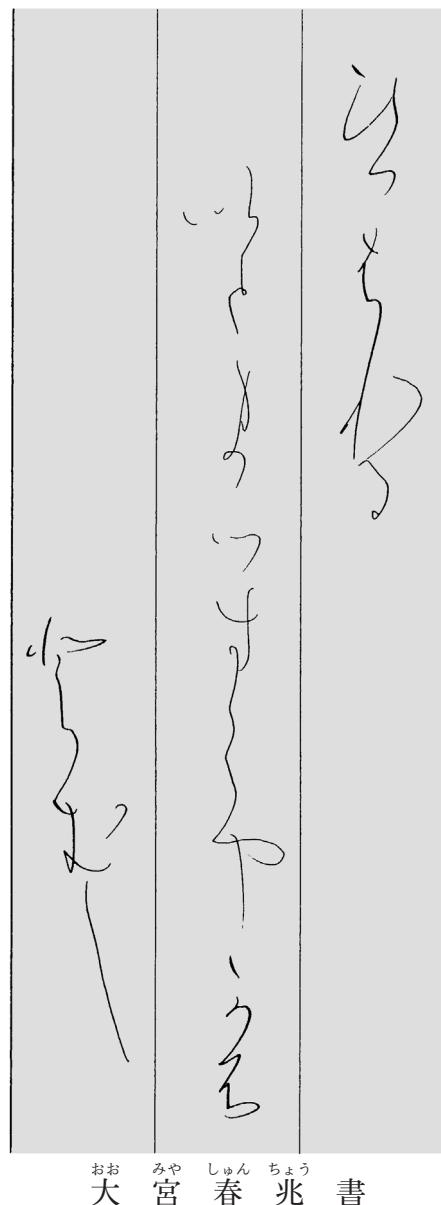
★迅速に:(書体=楷書)
エバレット(一八〇九~一九〇〇)
アメリカの哲学者
現代は、コンピューター、インターネットが主流となって、目まぐるしく動く社会となりました。人生の選択は様々ですが、経営者として、ビジネスマンとして成長したいと思うならば、何事にも素早く決断し行動できるようになくておくことが必要となるでしょう。

一般部かな課題

締切り 7月25日(必着)

準初段から六段まで

ひっぱれる糸まつすぐや甲虫
者以と川連須
ひとまつすくわむし

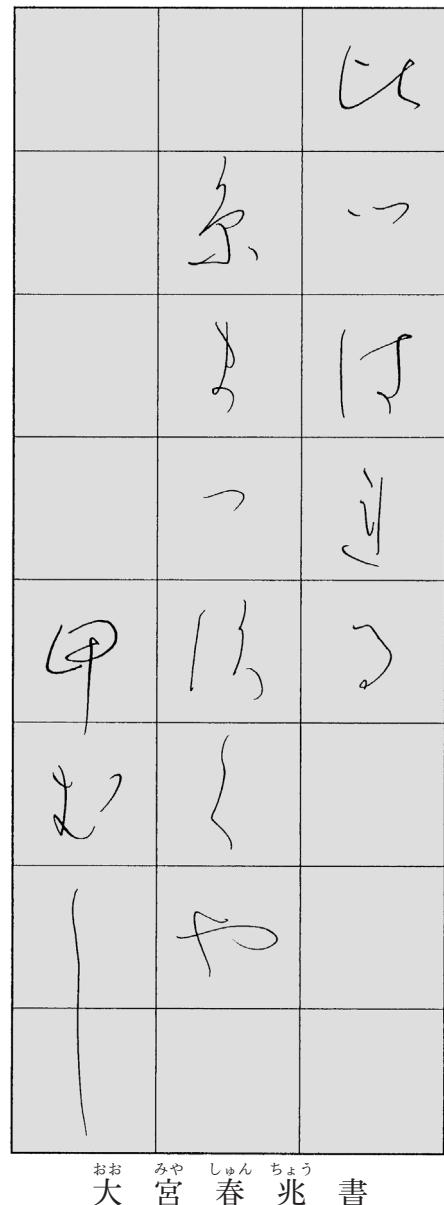


▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

ひっぱれる糸まつすぐや甲虫
者以と川連須
ひとまつすくわむし

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



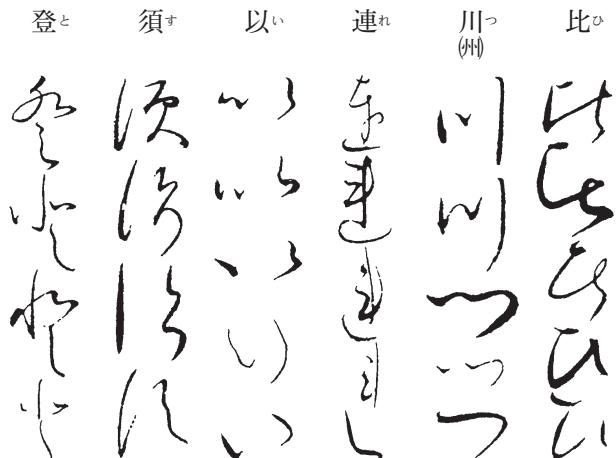
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆8月課題予告

朝顔や濁り初めたる市の空
あさがほにこそらいちそら

(杉田久女)
すきたひきじょ



[古筆参考]

句意 子どもが捕らえられてきたのであろうか。一匹の大きな甲虫が糸に結びつけられ、片端は子どもの手に、または、柱などに結わえ付けられて固定してある。甲虫のがれようと真剣に這い続けると、その方角に、糸はぴんと張った一本の線になることである。

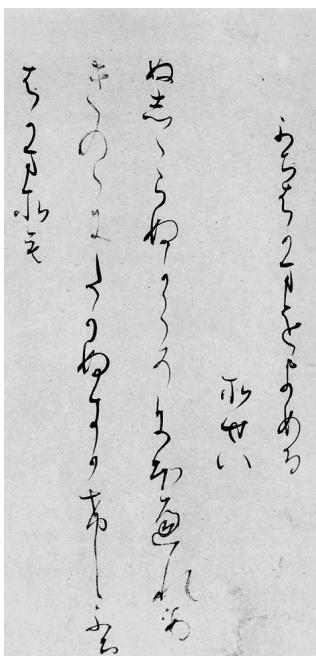
ひっぱれる糸まつすぐや甲虫
(高野素子)
かぶとむし

一般部かな課題

師範・教範・書範

[古筆参考]

せきどほんこきんしゅう
関戸本古今集

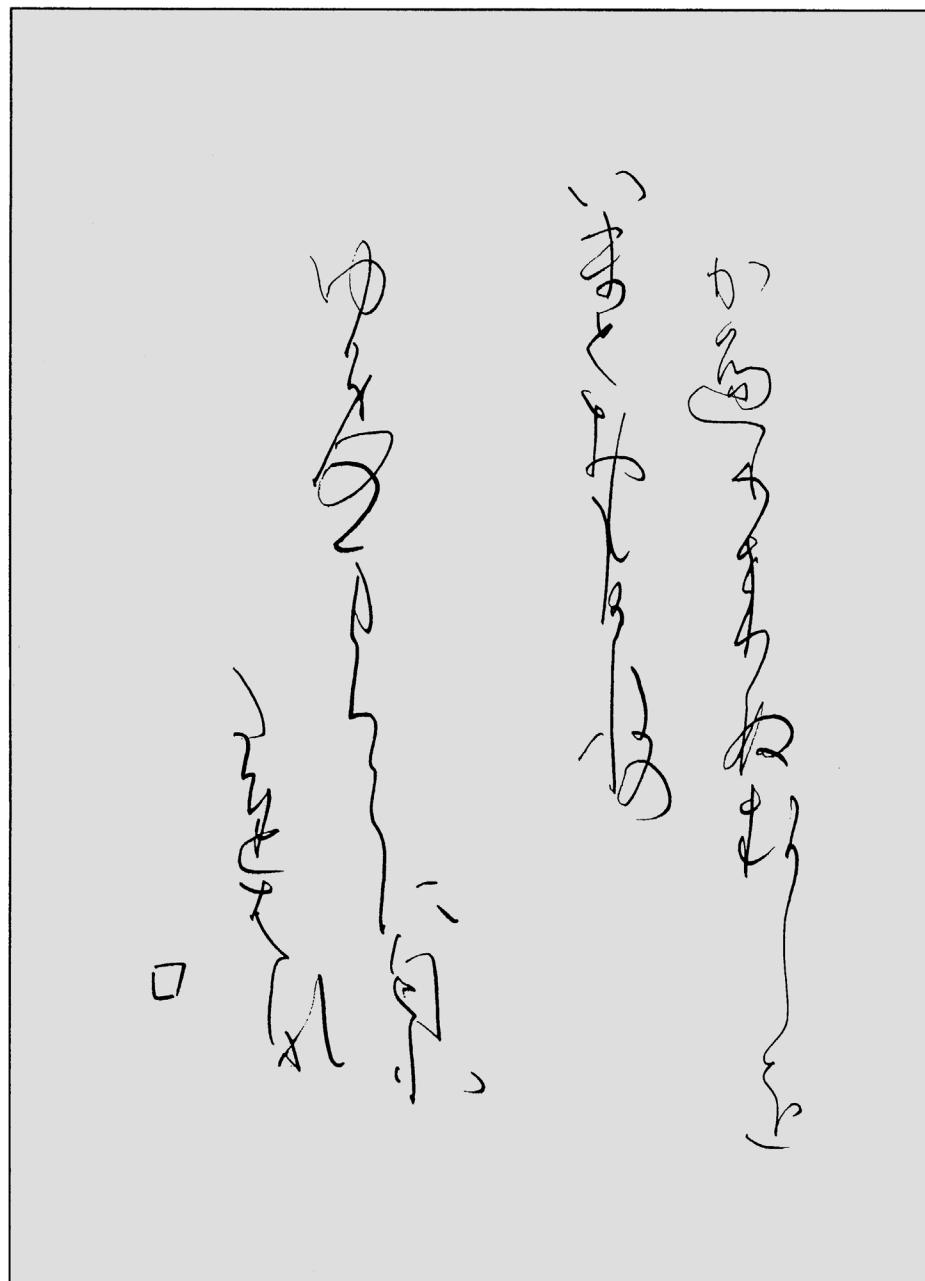


者可万所毛

ぬちらぬかこそにほへれあ
きのこにたがぬぎかけしふち
ばかまぞも

ふちばかまをよめる

所せい



締切り 七月二十五日 (必着)

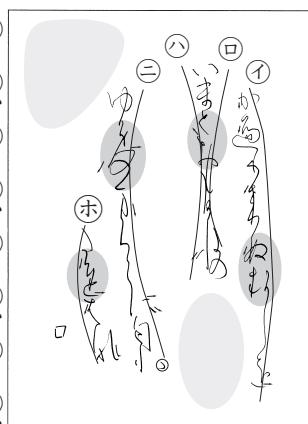
築やな
瀬せ
舟しう
香こう
書書

【歌意】再び帰っては来ない昔を今に
と思ひながら寝た夜の夢、その夢の中で、昔は戻っていました。そして覚めた枕辺には橘が薰っていました。

【出典】新古今和歌集(集成)

解説

(新潮日本古典集成)



美しい作品には、書に限らず疎と密が重要です。書の場合は一行の中に疎密を作りそれが面の中を移動して全体のバランスを作らねばなりません。

疎と密

- ○ 余白(大きな間)。
- ↘ 指向性。線の方向大切。
- ○ 点の位置大切。

◆ 8月課題予告
秋近きけしきの杜に鳴く蟬の
涙の露や下葉染むらむ

締切り 7月25日(必着)

「加藤さん家はもう穂が出てる…」と
急かされて田に施肥を散布。夫は
早朝の収穫で他の田の品定めを
仕事が増えすぎてしまうからです。
おや、お米が取れるのです。

■両課題とも、書体変換は自由です。

(黒色に限る)

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■用紙ははがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。

作品の出し方

◎手本は水性ボールペン使用

「加藤さん家はもう穂が出てる…」と
急かされて田に施肥を散布。夫は
早朝の収穫で他の田の品定めを
仕事が増えすぎてしまうからです。
おや、お米が取れるのです。

横書き課題

おか 岡 じま 嶋 けい 桂 せん 川 書

大正14年7月12日、日本で初めて

ラジオの本放送が開始された。

三重県伊勢市 氏名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 7月25日（必着）

視膳之禮無方

禮視膳無方之

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）
〔読み〕視膳の礼は方ぶる無し。

準初段から師範まで

奥村暢之臨

醉荷香欲

〔読み〕荷香魚酔わんと欲す
〔大意〕荷香（蓮の花の香り）は強くて魚を酔わしめんとしている。

新入から1級まで（楷書）

荻田蒼仙書

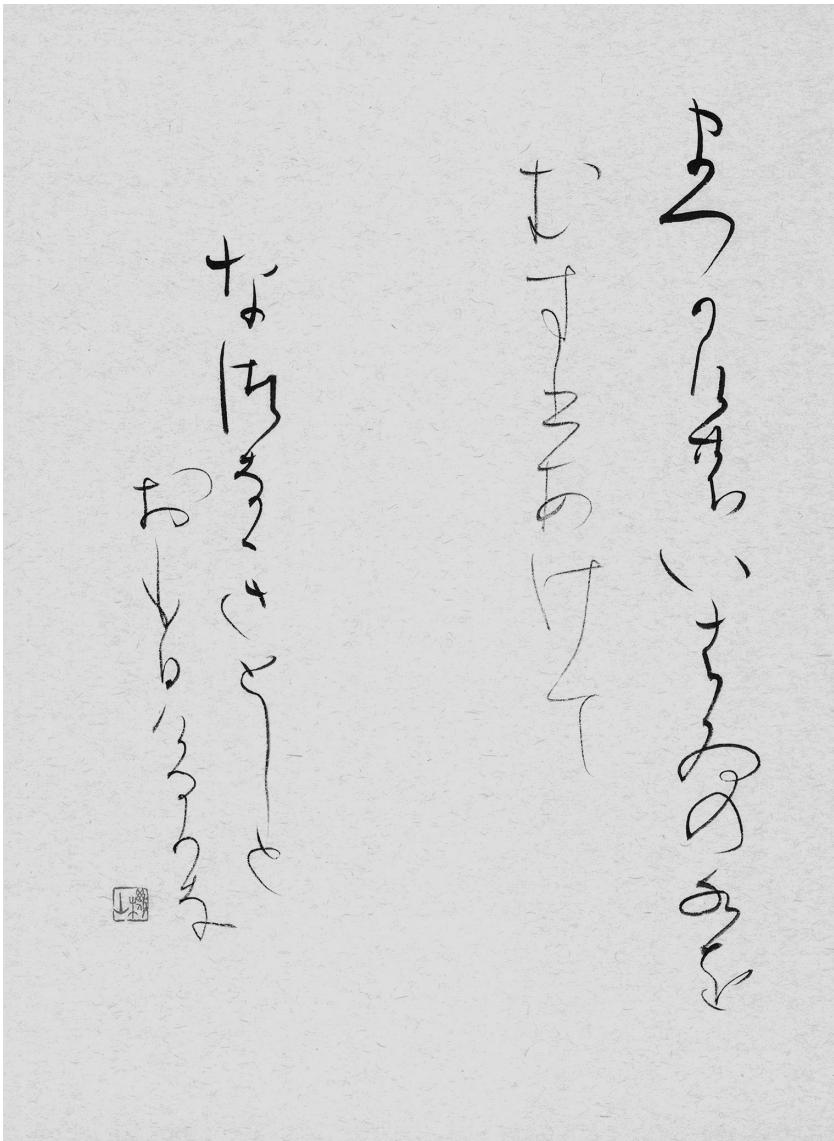
一般部毛筆かな課題

締切り 7月25日（必着）

新入から1級まで

- 8 -

浅井機山先生書



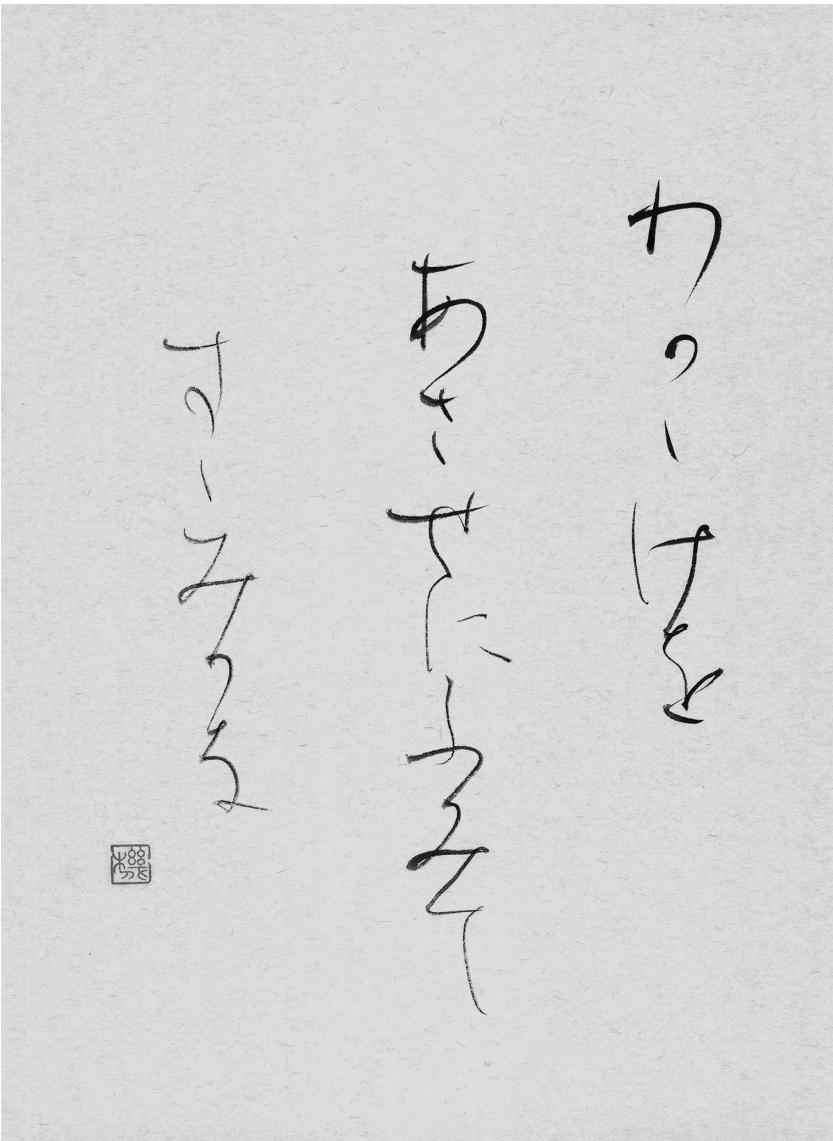
[出典] 恵慶

〔歌意〕松の木陰の、岩間からわき出る水を、手ですくいあげては、暑い夏のない年だと思ったことだなあ。泉の水が冷たく涼しいので。

まつ
かげ
の
岩井
な
き
年
と
おも
ひ
ける
か
な
悲
あげ
て
松
奈
農
い
者
の
岩井
な
き
年
と
おも
ひ
ける
か
な
悲
あげ

準初段から師範まで

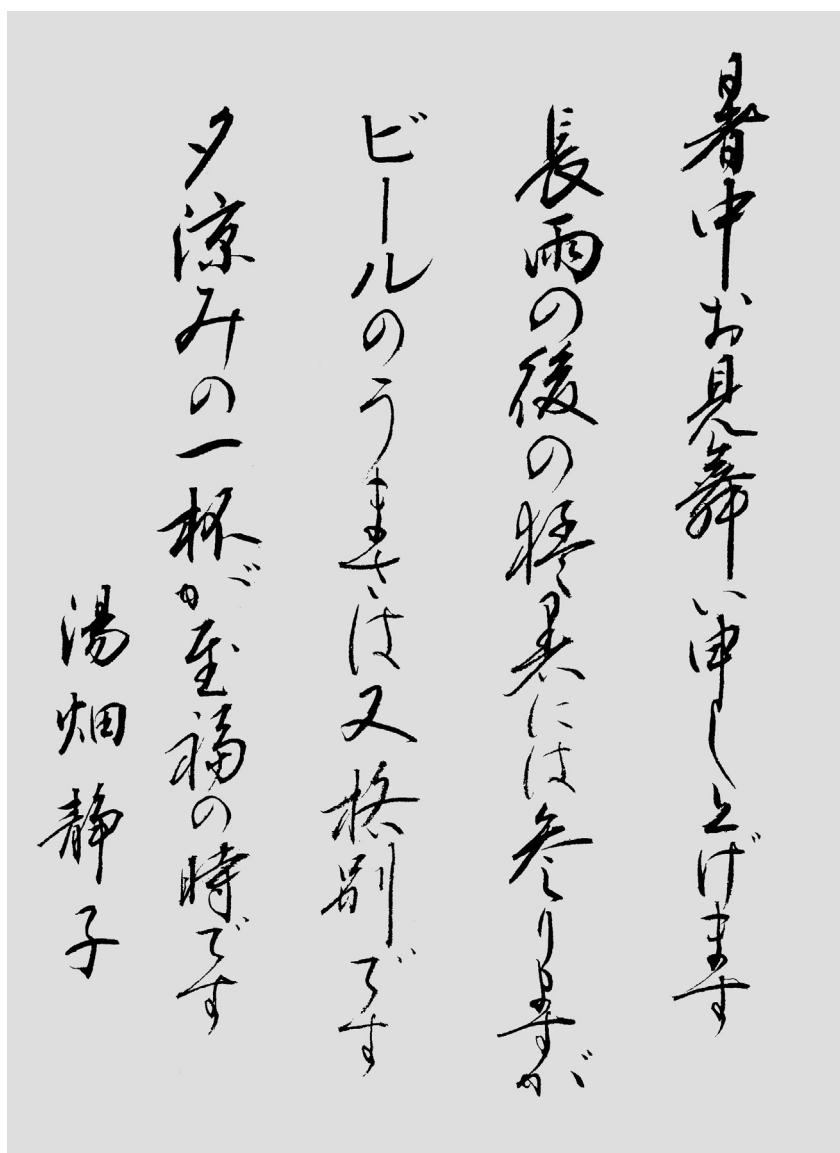
■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。
我影を浅瀬に踏てすずみかな



[出典] 与謝蕪村

〔句意〕賀茂川の浅瀬にうつった自分の影をふんで、そのひややかな水の感触を楽しみながら夕涼みする情景。

一般部毛筆細字課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

とい 樋 だ 田 れい 玲 か 華 書

一般部毛筆条幅課題



避暑林の風に涼む
白居易

白居易

暑をさけてちくふうすずし
林の風に涼む

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕 少字数の時に余白、潤渴、緩急等の中から絞って学ばれるのもよいでしょう。起筆も入り方で作品の趣が変わります。上位の方は形より線を学んで下さい。調和体を露鋒で書くと浅く軽いものになります。深みのある味のある作であつて欲しいです。

暑中お見舞い申し上げます

長雨の後の猛暑には参りますが

ビールのうまさは又格別です

夕涼みの一杯が至福の時です

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位5等)は、評価により毎月変わります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

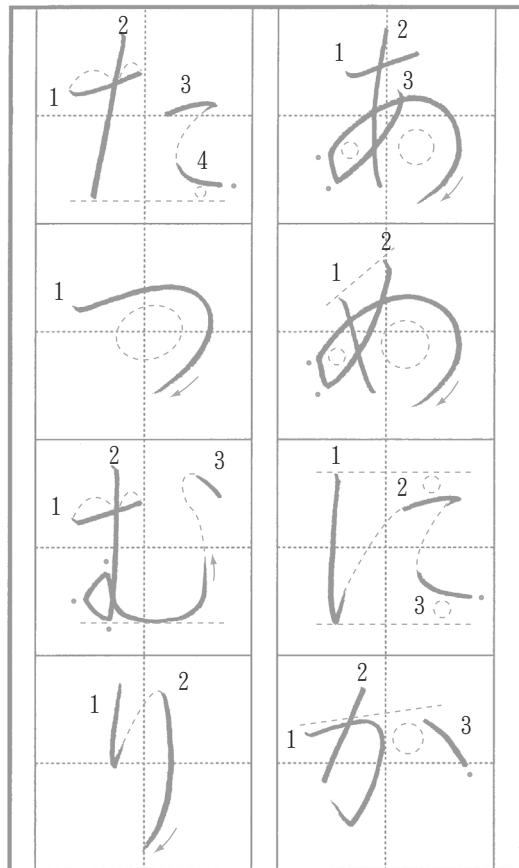
締切り 七月二十五日 (必着) 半切 (136 cm × 35 cm)

萩田蒼仙書

きょういくぶ こうひつ か だい
教育部硬筆課題

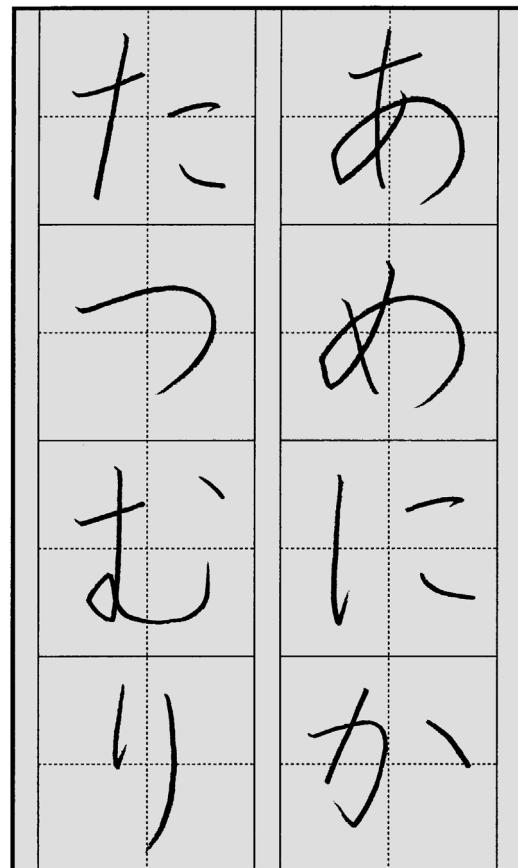
しめきり 7月25日(必着)

<ようぐ> 自由 (黒色にかぎる)



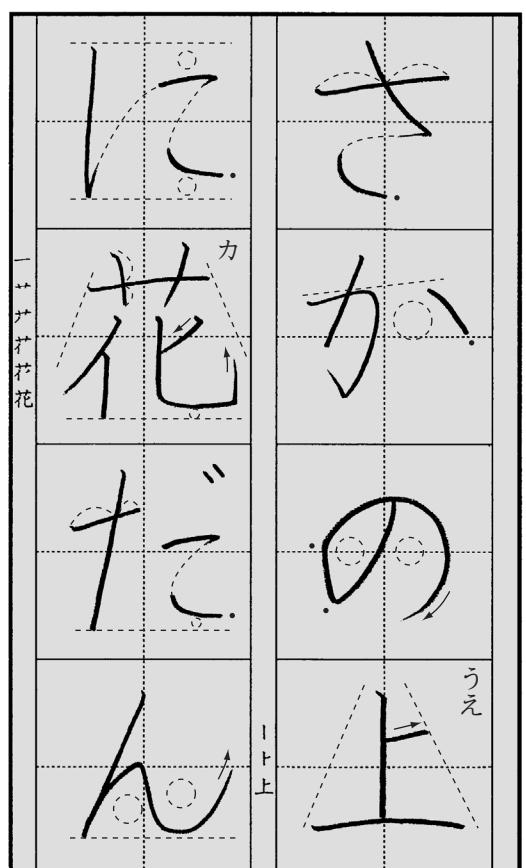
◆ひらがなトレーニング (なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ う 年

幼年～小三年 三 宅 容 玉 書



新入～1級

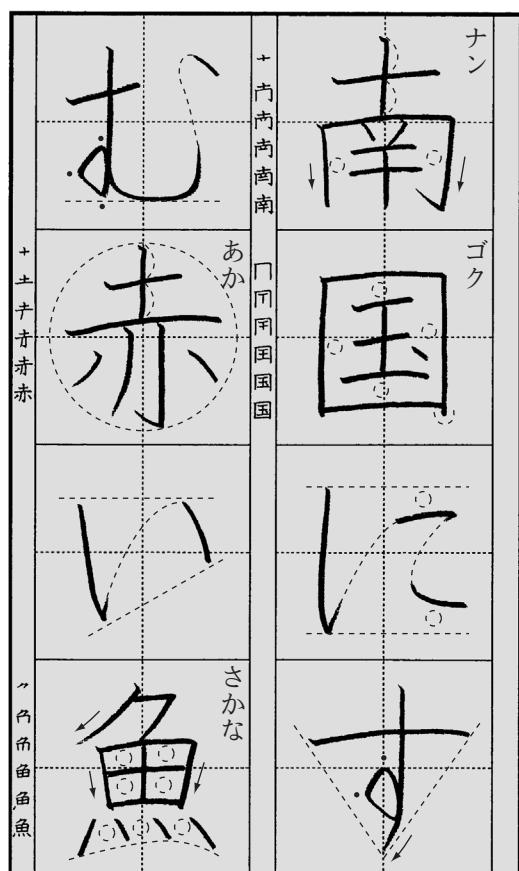
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小 一 年

準初段以上

<ようぐ> 自由 (黒色にかぎる)

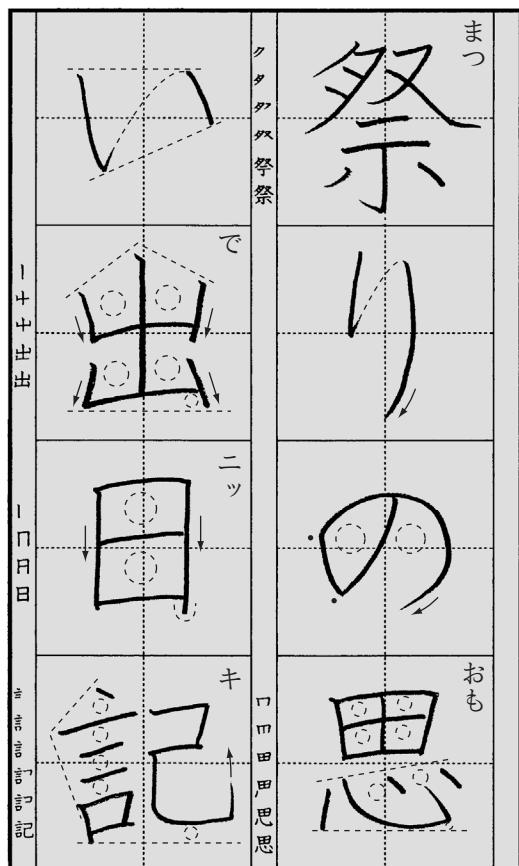


新入～1級

小二年



準初段以上



新入～1級

小三年

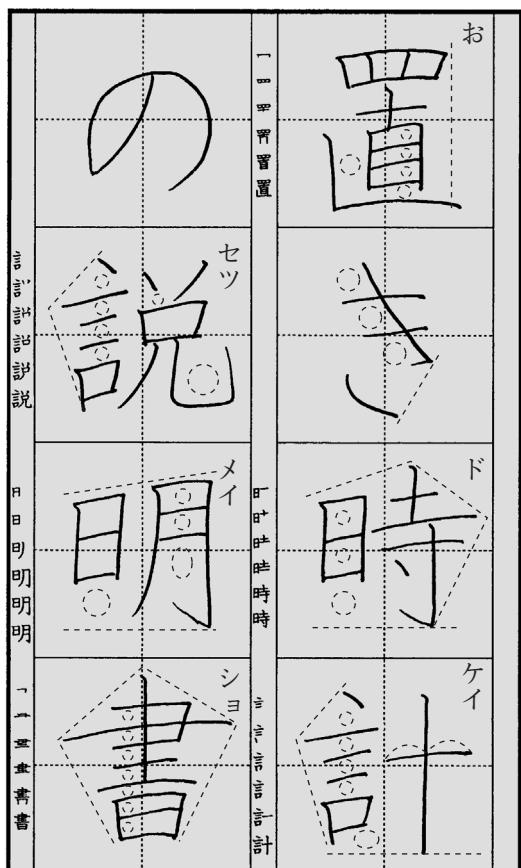


準初段以上

教育部硬筆課題

しめきり 7月25日(必着)

〈用具〉自由 (黒色に限る)



新入～1級

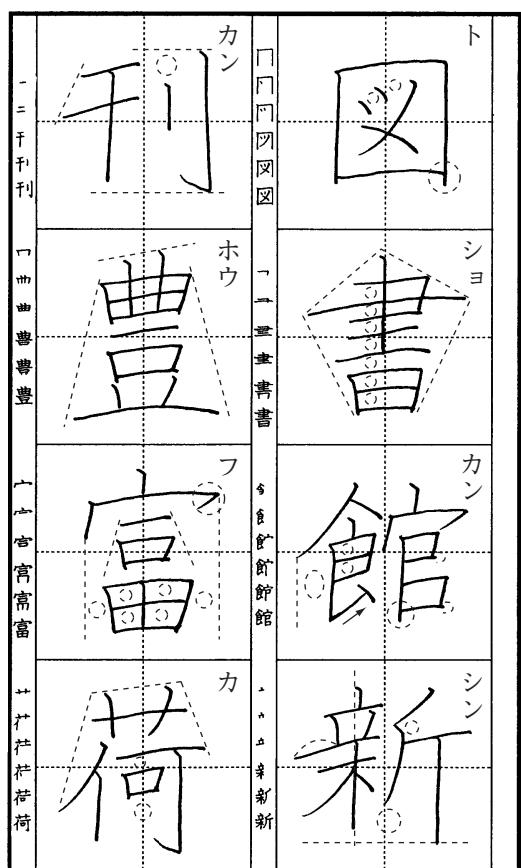
*時計＝単語としてこのように読みます。

く	説	置
読	明	き
み	書	時
使	を	計
う	よ	の

小四年

準初段以上

小四以上
須田一葉書



解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

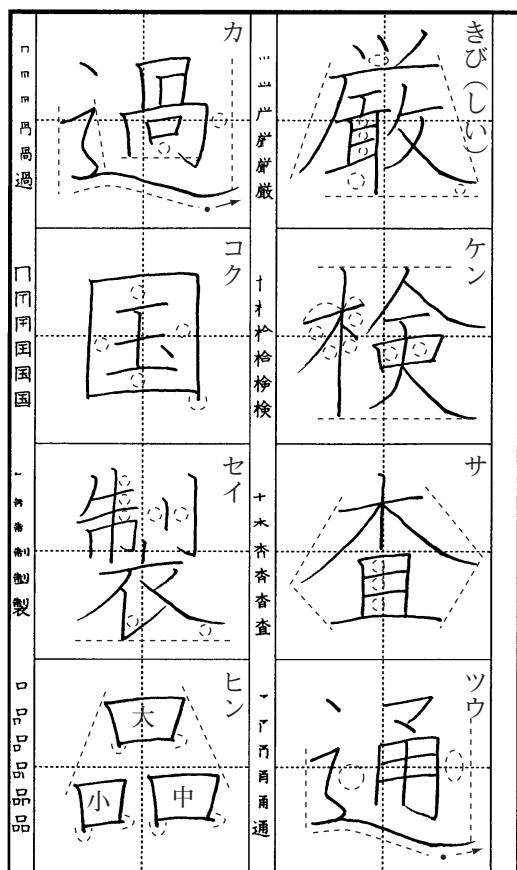
入	刊	因
荷	が	書
し	豊	館
た	富	に
よ	に	新

小五年

(全員)

教育部硬筆課題

しめきり 7月25日(必着)



〈よつぐ〉自由 (黒色に限る)

解説 (よく見て習いましょう)

外	を	嚴
国	通	し
の	過	い
製	し	検
品	た	査

小六年

(全員)

て	眼	新
海	鏡	（）
水	と	い
浴	持	水
へ	つ	中

*眼鏡 = 単語としてこのように読みます。

中二・三年 (行書)

展	細	祖
示	工	母
さ	作	の
れ	昌	粘
た	か	土

中一年 (行書)

▼小三年以下の課題 安藤 春翠 書

し	ラ	毎	お	早
て	ジ	朝	じ	起
い	オ	元	い	き
ま	体	気	ち	の
す	そ	に	や	
	う		ん	
			と	



◎お手本はえんぴつ使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 二、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 三、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 四、用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 五、成績は評価により毎月変わります。
- 六、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◎お手本はつけペン使用

こどものひろば

しめきり 7月25日(必着)

習っていない漢字は、ひらがなで書いててもよろしい。

▼小四年以上の課題 澤田天由 書

避	素	突	川
難	早	発	で
し	く	的	遊
ま	安	な	ぶ
す	全	豪	時
	に	雨	は
		に	

